

## 令和7年度卒業論文題目一覧

### 【社会学ゼミ】（木戸 功）

- ・ きょうだい関係と友人関係 —年の差きょうだいに着目して—
- ・ 女子大学生にとって「推し活」とは —「推し」の存在意義を探る—
- ・ 女子大学生における母娘関係と親密性
- ・ 夢追いライフコースと女性 —標準的ライフコースへの認識に着目して—
- ・ 祖父母と孫のつながり —現代における世代交流のかたち—
- ・ 現代若年女性にとっての友情 —非恋愛的親密性の構造と意味—
- ・ 女子学生による「親友」の定義 —友人、恋人と比較して—
- ・ 女子大学生の結婚観 —女子大学生にとっての結婚とは—
- ・ 越境の意志決定と家族 —中国若年女性留学生の語りから—
- ・ ライフコース展望とキャリア選択 —女子大学生の就職活動経験を通して—

### 【社会学ゼミ】（大概 奈巳）

- ・ 育児観と家族のつながりに関する考察
- ・ AIはクリエイター職にどのような影響を及ぼすのか
- ・ どのような人がプロの音楽家になれるのか
- ・ 共働きは子どもにどのような影響を与えるのか
- ・ 転職は個人の幸福度にどう影響するのか
- ・ 教育格差の現状と支援団体の取り組みについて
- ・ スターバックスコーヒーの経営理念はどのように従業員に根付くのか
- ・ 就職活動と親子関係について
- ・ 首都圏Jリーグクラブの地域に与える影響について
- ・ 町おこしにおける企業の役割—5つの自治体による比較を通じて—

### 【社会学ゼミ】（前田 一歩）

- ・ 第3の居場所としての地域子育て支援拠点 —制度的支援を補う居場所支援の役割—
- ・ 日本社会における同性愛者の関係形成と支援の在り方
- ・ 都市型イベント施設が地域経済と関係性の形成に与える影響 —東京ドームにおけるイベントと飲食店消費行動を中心に—
- ・ つながりを育む食卓 —子ども食堂がひろく居場所と地域共生のかたち—
- ・ 抑圧と解放の狭間にある化粧 —ニューメディア発信における表現と社会的規範—

### 【社会心理学ゼミ】（小城 英子）

- ・ 「演歌」の衰退要因と現代においてヒットさせる方法
- ・ ファスト映画の功罪
- ・ 推しの誕生日を祝福する心理
- ・ 現代の不思議現象に対する態度の検討
- ・ 声優のファン心理
- ・ 集団における情動知能の効果 —女子大学生で構成される集団について—
- ・ 子供向け玩具を嗜好する大人の心理 —シルバニアファミリー・リカちゃん人形に着目して—
- ・ アニメ・マンガにおけるキャラクターファンの心理

- ・ 推しを秘匿するファンの心理 —自己紹介場面での開示を比較—

#### 【社会心理学ゼミ】（菅原 健介）

- ・ 人はなぜ「作り笑い」をするのか？ —作り笑いが過剰適応に与える影響—
- ・ スポーツにおけるプレッシャーの種類と有効な対処行動 —プレッシャー反応傾向を規定する要因—
- ・ YouTube におけるミッドロール広告の視聴行動を規定する要因 —ミッドロール広告に関する研究—
- ・ フォントの形態的特徴と感情、色彩イメージとの関連 —タイポグラフィの表現力を探る—
- ・ SNS 上での社会的比較に伴う不安とその対処法 —FoMOとMoMOの既定要因に関する検討—
- ・ 女子大学生にとって居場所とは？ —青年期における心理的居場所が適応感に及ぼす影響—
- ・ 若年女性の経済的自立を促す心理的要因 —経済的知識と金銭価値観を媒介変数とした分析—
- ・ コメント機能の利用はYouTubeの魅力を高めるか —女子大生の視聴スタイルを対象として—

#### 【社会心理学ゼミ】（薊 理津子）

- ・ Z世代におけるY2Kファッションの魅力 —自己表現・ギャルマインド・SNS文化の交点からみた心理学的検討—
- ・ SNSプロモーションが消費者行動に影響を及ぼす要因 —個人特性と魅力別の比較から—
- ・ KPOPアイドルにおけるカムバック文化が推し活に与える影響 —ファン心理と心理的所有感に着目して—
- ・ 舞台公演の鑑賞方法に関する利用と満足研究 —対面、オンライン、オンデマンドの比較—
- ・ 植物栽培がもたらす心理的効果とそのメカニズム —植物に対する態度・栽培意欲およびパーソナリティに着目して—
- ・ サンリオ推し活グッズの魅力

#### 【文化人類学ゼミ】（石井 洋子）

- ・ 量職人の技術継承と女性の参入 —女性量職人への聞き取りを通して—
- ・ 大量消費社会を生きる漆芸家 —職人インタビューを通して—
- ・ 女性レーシングドライバーに耳を傾ける —モータースポーツ界に生きる女性の仕事・家庭・ジェンダー意識—
- ・ 20代韓国女性ジェンダー意識と社会進出 —ソウル市におけるフィールドワークを通して—
- ・ 福島を想い、地域おこしに奔走する人々 —地域おこし協力隊より学ぶ資源とのつながり—
- ・ 韓国女子学生として学歴社会を生きる —韓国K大学でのフィールドワークを通して—
- ・ 世界遺産を生きる人々が見つめる観光の在り方 —広島県宮島でのフィールドワークを通して—
- ・ 高齢者として生活する —静岡県F市ならではの高齢者の豊かさと課題について—

#### 【文化人類学ゼミ】（岩原 紘伊）

- ・ 観光地が取り組む国際交流 —神奈川県箱根町を事例に—
- ・ 京友禅技法と職人に関する文化人類学的研究 —3つの工房の比較から—
- ・ 平和教育とダークツーリズム —加害と被害の記憶をもつ地域の記憶継承—
- ・ 竹富島におけるオーバーツーリズムと観光のまなざし論 —観光が見せる理想と覆い隠される現実—
- ・ 現代日本における酒造りの文化人類学 —3つの現場に注目して—
- ・ 子ども食堂における食育と地域コミュニティの役割 —東京都内2カ所の子ども食堂に注目して—
- ・ 現代日本における伝統工芸品の生産と文化の継承 —津軽びいどろと津軽塗を事例として—
- ・ ミカン農業と地域課題に関する文化人類学的研究 —愛媛県のみかん農家へのボランティアから—
- ・ 北海道美瑛町における農業と観光のかかわり —景観人類学からのアプローチ—
- ・ 移住者・二拠点生活者のコミュニティ形成と居場所感覚 —移住・二拠点生活関連サービスを通じた事例から—
- ・ 天然記念物と人の共生に関する文化人類学的研究 —与那国馬の保全活動に注目して—